開幕戦 釧路鳥取に軍配

白水主将（バーニングバレット）が選手宣誓

全道小学IH

1回戦〔清水御影—釧路鳥取小〕開幕戦から白熱した戦いを繰り広げた＝12日午前、白鳥王子アイスアリーナ

第39回全道小学生アイスホッケー選手権大会は12日午前、苫小牧市の白鳥王子アイスアリーナで開幕した。第1試合は釧路鳥取小同好会、第2試合は星置ケッターズJr.が勝利し、それぞれ2回戦に駒を進めた。全道制覇を目指し、初日から選手たちははつらつとしたプレーを見せている。

大会に先立ち行われた開会式では、バーニングバレット（苫小牧）のDF白水竜之介主将（緑小6年）が選手宣誓を務め、「この場でアイスホッケーという競技ができることに感謝し、各チーム代表ということを忘れず、最後まで正々堂々戦うことを誓います」と力強く語った。

小学生の道内ナンバーワンを決める冬のビッグイベントとなる今大会は、苫小牧地区から参加しているバーニングバレット、レッドスターズ、BLUEサンダーズの3チームをはじめ、札幌、帯広、釧路、旭川の5地区の各予選会を勝ち上がった14チームが、3日間にわたるトーナメントを繰り広げる。

苫小牧勢は、12日の第4試合（午後2時30分）にレッドスターズが北海道バーバリアンズジュニアアイスホッケークラブ（札幌）と対戦する。BLUEサンダーズは同日の第6試合（午後6時）にノースライジング（釧路）と顔を合わせる。バーニングバレットは、13日の第2試合（午前10時45分）に開幕戦を制した釧路鳥取小同好会と激突する。

北海道アイスホッケー連盟などが主催し、苫小牧アイスホッケー連盟が主管、北海道、道教委、苫小牧市、市教委、市体教などが後援している。

初日午前の結果は次の通り。

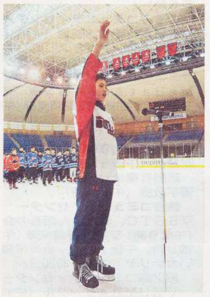
▽1回戦

釧路鳥取小学校アイスホッケー同好会 3（1—1、0—0、2—1）2 清水御影アイスホッケー少年団

▽得点者【鳥】石川大（吉田）石川大【清】田村、尾田▽GK【鳥】高橋【清】田代

星置ケッターズJr. 2（2—0、0—0、0—1）1 Vortex大空

▽得点者【星】花田（谷川）花田（本地）【V】安藤美（西尾然、西尾烈）▽GK【星】常川【V】甲山



選手宣誓をするバーニングバレットの白水主将

IHアジアリーグ

日本チーム下位に低迷

王子 PO進出 崖っぷち

16日から連戦 意地見せるか

プレーオフ進出に向けて、巻き返しが必要不可欠になっている王子＝6日のデミョンキラーホエールズ戦から

混戦模様のレギュラーリーグは佳境を迎え、プレーオフ5枠をめぐって順位争いが過熱してきた。後半戦に入り、韓国勢が強さを発揮して上位に顔を出す一方、日本チームは下位に低迷。苫小牧の王子イーグルスは現在6位と苦戦を強いられ、残り試合数を考えても上位5チームに与えられるプレーオフ（2月16日〜）進出に向けて崖っぷちの状況だ。

レギュラーリーグ全136試合は、11日時点で111試合を消化した。順位を見ていくと、今季大幅な戦力補強を敢行したデミョンキラーホエールズ（韓国）がここに来て首位。セーブ率94・67％を誇るロシア人GKイワノフ・アレクセイが最後のとりでとして構えているのが大きい。プレーヤーも体を張った守りや献身的なプレーでチームに貢献する姿があるなど隙を見せない。

このほか、リーグ4連覇を目指すアニャンハルラ（同）は序盤から安定して白星を積み上げ、3位の好位置。サハリン（ロシア）は黒星先行ながら4位。いずれも年末に選手を補強しており、他チームに脅威を与える。ハイワン（韓国）も米国、ロシア人を中心としたセットがシーズン序盤から徐々に機能しだしており、11月中旬以降9勝3敗と一気に5位まで上がってきた。

国内勢では、今季限りでの廃部が決まっている日本製紙クレインズが日本チーム最上位の2位に付ける。開幕ダッシュを生かして再三首位争いを演じているほか、海外勢に割って入る。大きな連敗もなく、国内勢では唯一プレーオフ圏内を維持している。

一方で、昨年12月に行われた全日本選手権大会で2年ぶりの日本一に輝いた王子はその後、ホームで戦った韓国勢との連戦では年末ハイワンに1勝1敗。デミョンとは接戦を演じながら、初戦は1点が遠く、2戦目はリードを守り切れず、いずれも1点差負け。勝ち点を伸ばし切れなかったのが大きく影響している。この後、16、17日と苫小牧白鳥王子アイスアリーナでハルラと連戦。プレーオフが導入された2004—05年シーズンから参加チームで唯一プレーオフ進出を続けている名門がここで意地を見せることができるか。

栃木日光アイスバックスは7位、東北フリーブレイズは最下位に低迷。いずれも途中の大型連敗が響いており、もうこれ以上は後がない状況。残り試合数を考えてもここが正念場だ。

レギュラーリーグ順位表（11日まで）

順位	チーム	試合数	勝ち	負け	勝点
①	デミョンキラーホエールズ（韓国）	29	16	13	52
②	日本製紙クレインズ	29	16	13	46
③	アニャンハルラ（韓国）	26	16	10	46
④	サハリン（ロシア）	27	13	14	44
⑤	ハイワン（韓国）	28	14	14	43
⑥	**王子イーグルス**	28	13	15	37
⑦	栃木日光アイスバックス	29	13	16	35
⑧	東北フリーブレイズ	26	10	16	30

明倫は2回戦で涙

全道中学新人大会

バドミントン

11日に開幕した第37回北海道中学生新人バドミントン競技選手権大会（道バドミントン協会が主催、苫地区バドミントン協会主管）は同日、苫小牧市総合体育館で2複1単の学校対抗団体戦が行われ、男子は帯広第一（十勝）、女子は旭川忠和（旭川）が栄冠を勝ち取った。

団体戦は男女それぞれ14チームが参加し、トーナメント戦を展開した。苫小牧勢では、男子の明倫が初戦の北見相内（北見）を下したものの、2回戦で伊達（室蘭）に敗れた。男子の開成、女子の啓明、明倫はいずれも初戦で涙をのんだ。

同大会は13日まで。12日を含めた2日間で男女の個人戦、シングル、ダブルスが行われる。

団体戦の結果は次の通り。

【男子】

▽1回戦 札幌厚別（札幌）2—1稚内天北（名寄）、明倫（苫小牧）2—1北見相内（北見）、伊達（室蘭）2—1白糠（釧根）、岩見沢光陵（南空知）2—1開成（苫小牧）、江別中央（札幌）3—0上砂川（北空知）、小樽銭函（小樽）2—1森（函館）

▽2回戦 帯広第一（十勝）3—0札幌厚別、伊達2—1明倫、江別中央2—0岩見沢光陵、旭川東明（旭川）3—0小樽銭函▽準決勝 帯広第一2—0伊達、旭川東明2—0江別中央▽決勝 帯広第一2—1旭川東明◇順位 ①帯広第一②旭川東明③伊達、江別中央

男子団体2回戦〔明倫—伊達〕はつらつとしたプレーを見せた苫小牧明倫の選手

【女子】

▽1回戦 小樽菁園（小樽）2—1七飯（函館）、札幌発寒（札幌）3—0名寄（名寄）、南幌（南空知）3—0啓明（苫小牧）、旭川忠和（旭川）3—0室蘭西（室蘭）、北見北（北見）2—1根室啓雲（釧根）、滝川明苑（北空知）2—1明倫（苫小牧）▽2回戦 帯広第一（十勝）3—0小樽菁園、札幌発寒2—1名寄、旭川忠和2—0北見北、札幌羊丘（札幌）2—1滝川明苑▽準決勝 帯広第一2—0札幌発寒、旭川忠和2—0札幌羊丘▽決勝 旭川忠和2—1帯広第一◇順位 ①旭川忠和②帯広第一③札幌発寒、札幌羊丘

男子 駒大苫5連覇

クローバー杯 初開催の女子は道栄制す

高校バスケ

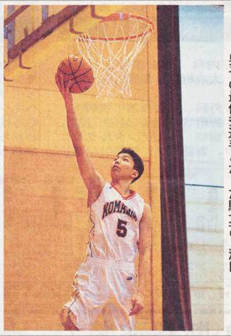
高校バスケットボールのクローバーカップが6〜10日、苫小牧駒沢大学、北海道栄高校体育館を舞台に開かれた。男子は駒大苫小牧が大会5連覇達成。初開催となった女子は、北海道栄が見事栄冠をつかんだ。

札幌を拠点に観光業を手掛けるクローバープラン（佐藤洋紀代表）が主管する、チーム間交流や相互強化を目的とした一戦。冬休みを利用し全道各地から集った男女計11チームが、競技5日間で公式戦さながらの白熱した点の取り合いを繰り広げてきた。

クローバー観光、ウェアー倶楽部ワタナベ、オンザコート、日信、モルテン、北海道コカ・コーラボトリング、ホテルスティヴィレッジ、大塚製薬、明石スクールユニフォームカンパニーといった道内企業が協賛、協力。個人賞選出者などに豪華賞品がプレゼントされた。

男子は節目の5回目、女子は記念すべき1回目の大会を開催できたことに早坂昭大会委員長（札幌清田）は、「それぞれチームとしての課題が見つかったと思う。変化することを恐れず、勇気を持って自分らしさを出して頑張っていってほしい」と期待していた。

記念すべき第1回大会で躍動した女子選手たち



男子の最優秀選手となった駒大苫・澤口

【男子】

順位決定トーナメント

▽決勝 駒大苫小牧110—64北海▽3・4位戦 帯広大谷73—59札幌東▽準決勝 駒大苫小牧121—61帯広大谷、北海86—39札幌東

▽5・6位戦 北海道栄86—76札幌清田▽7・8位戦 滝川96—52札幌丘珠▽5位決定予備戦 札幌清田111—35札幌丘珠、北海道栄101—47滝川

予選リーグ

▽A 駒大苫小牧130—36札幌東、駒大苫小牧109—43札幌清田、駒大苫小牧122—54滝川、札幌東62—61札幌清田、札幌東87—74滝川、札幌清田77—63滝川▽B 北海91—57北海道栄、北海道栄62—60帯広大谷、北海道栄119—32札幌丘珠、帯広大谷65—64北海、北海117—29札幌丘珠、帯広大谷137—28札幌丘珠

個人賞

▽最優秀賞 澤口翔（駒大苫）▽優秀賞 川井圭（北海）▽殊勲賞 堀尾啓汰（帯大谷）▽敢闘賞 野呂昭太（札東）▽特別賞 多田悠馬（道栄）、本前聖矢（清田）、金村共晃（滝川）、辻湊輔（丘珠）▽得点王 近藤竜臣（駒大苫）▽クローバー賞 大山日南太（駒大苫）、惣伊田康助（北海）

【女子】

リーグ戦

▽戦績 北海道栄A76—46小樽双葉A、北海道栄A65—44札幌旭丘A、札幌旭丘A62—49小樽双葉B、北海道栄B73—56小樽双葉B、北海道栄B55—43札幌旭丘B、札幌旭丘A58—55小樽双葉A、北海道栄A88—24小樽双葉B、札幌旭丘A54—50北海道栄B、札幌旭丘B55—41小樽双葉B、小樽双葉A62—42北海道栄B、北海道栄A119—15札幌旭丘B、小樽双葉A51—16札幌旭丘B▽順位 ①北海道栄6勝2敗②札幌旭丘4勝4敗③小樽双葉2勝6敗

個人賞

▽最優秀賞 桜庭莉李亜（道栄）▽優秀賞 入船桜来（旭丘）▽殊勲賞 三國向日葵（双葉）▽得点王 中谷由菜（道栄）▽クローバー賞 今井瞳花（道栄）、高橋彩弥花（旭丘）、吉岡沙樹（双葉）

豚汁やカレー振る舞う

試合会場で自衛隊炊き出し

自衛隊が参加選手らに豚汁を振る舞った

クローバーカップ開催中、陸上自衛隊第7師団第73戦車連隊（南恵庭駐屯地）が炊き出しを行った。「野外炊具1号」と呼ばれる野戦用の炊事装備を駆使。男子会場（苫駒大）で7日に豚汁、女子会場（道栄高）では10日、カレーライスをそれぞれ振る舞った。

とまこまいスケートまつりの滑り台造りや、昨秋の胆振東部地震での災害支援など、各方面で活躍を見せている同隊。自衛隊札幌地方協力本部によるPR活動の一環として、昨年に続いて大会会場に足を運んだ。具材は大会実行委員会側が用意し、昼食時間を目掛けて寒さ厳しい早朝から調理を行った。

仲間たちとカレーライスを頬張った道栄の佐藤憂菜主将（2年）は「お店で食べているような、スパイシーな感じでおいしかった」と笑顔を見せていた。

同本部の藤田吉永広報企画室長は「自衛隊の存在を身近に感じてもらえたら。たくさんの職種があるので、少しでも関心があれば気軽に訪ねてほしい」と呼び掛けていた。

自衛官募集に関する問い合わせはホームページ（http://www.mod.go.jp/gsdf/jieikanbosyu/）、または自衛隊札幌地方協力本部電話011（631）5472。

女子IH

2019IIHF女子U18世界選手権 試合時間と会場を変更

日本アイスホッケー連盟は、現在帯広市で開催中の2019IIHF女子U18（18歳以下）アイスホッケー世界選手権・トップディビジョン（1部相当）最終日13日の試合時間、会場を一部変更した。

当初午後5時から、帯広の森スポーツセンターで予定していた決勝戦の会場を、観客席数の多い帯広の森アイスアリーナに変更。これに合わせ、同2時30分からだった日本—チェコの順位決定戦（7・8位決定戦）の第3戦を同1時に繰り上げした（ただし、12日の第2戦でチェコが勝利した場合、第3戦は行われない）。

また、決勝戦では先着500人に国際アイスホッケー連盟公認練習用パックをプレゼント。問い合わせは、同選手権組織委員会事務局（帯広アイスホッケー連盟内）電話0155（48）9187。

アイスホッケー

◇第14回2018年度オールドタイマーリーグ（11日、苫小牧市新ときわスケートセンター）

サザンオールドスターズ 10（0—1、3—0、7—1）2 苫小牧メイプルリーフス

ボウリング

◇苫小牧民報社杯（11日、苫小牧中央ボウル）

①米村孝一1295②砂盛1210③八木橋亨1182④八木橋恵1163⑤藤原1151▽ハイゲーム 北片雅彦257

◇第14回苫小牧地区中学校ソフトテニス冬季研修大会（9日、苫小牧市総合体育館など）

【男子】

▽A級 ①早弓拓希・菅原大河（白老白翔）②長谷川・石本（同）③荘司・上田（沼ノ端）、三浦・豊田（青翔）▽B級 ①大崎蓉輝・畠山梨玖（鵡川）②牛澤・嶋西（苫東）③細井・磯崎（同）、西田・佐々木（和光）

【女子】

▽A級 ①千谷琉衣・田村華鈴（和光）②千葉・中村（同）③佐藤・奥山（同）、田村・大泉（光洋）▽B級 ①加納遥香・平尾千春（光洋）②矢野・藤田（苫東）③奥村・加藤（鵡川）、丹波・菅田（啓明）